

市民クラブ

住んで良かったと思えるまちづくりを目指して

report.2 菊池 よしひとの12月定例会 一般質問

▶ 国指定史跡黒浜貝塚整備事業（オープンに向けて）について

質問 全面供用開始の時期は。**答弁** 一部の工事が完成していない状況ですが、今年度で屋内・屋外のガイドシステムが完成するので、令和3年度中に全面供用開始と位置づけ黒浜貝塚のPRを進めていきます。**質問** 全面供用開始への課題は。**答弁** 未完成の工事については、引き続き補助金を要望して早期完成をめざしていきます。令和3年度中の全面供用開始後も、一部の工事を実施するので、来訪者の安全に配慮しながら、慎重に工事をすすめていきます。**質問** 樹木の管理は。**答弁** 全体の管理としては、西城沼公園などの都市公園の管理を参考とします。業者委託、市職員、文化財展示館の職員などにより作業分担を行い効率的に実施していく必要があります。除草については、可能な限り業者委託を中心に、場所や時期などを分担し効率的に行います。**質問** 植物の管理(除草など)を個人、団体などのボランティアとして依頼することについての見解は。**答弁** 除草に使用する草刈機や刈払機などを使用する場合は危険が伴います。このことから、除草ボランティアについての申し出があった場合には、ボランティア保険の適用など安全に関する配慮を十分に検討したうえで依頼をしたいと考えています。**質問** 広報はどのように行うのか。**答弁** リーフレットやパンフレットについて、完成した黒浜貝塚の案内システム紹介を盛り込んで作成することを検討しています。これらを、高速道路のSA、駅、様々な場所に配布するなどの方法を考えています。特に蓮田SAでの広報に関しては、黒浜貝塚がスマートインターチェンジから近いことから、東京方面からの「近場のお出かけ」や、遠方に出かけた際の「寄り道」として気軽に立ち寄ることができることも積極的にアピールしていきます。**質問** 広報に関して、子ども向けのパンフレットを作成してはどうか。**答弁** 子ども向けパンフレット等、紙媒体でのご案内についても、調査研究を進めていきます。

▶ 水泳指導民間連携事業（民間のスイミングスクールを利用した授業）について

質問 現状は。**答弁** プールで行う水泳授業は学習指導要領に基づき実施しています。校舍改修中の黒浜中学校では、9月から11月までの間、各学年1回につき2時間、計4日間にわたり、合計8時間、3学年で24時間の授業を実施しました。移動に際しては、委託業者のバスで送迎を行い、着替える場所についても更衣室に加え、別室も用意され、生徒同士の身体的距離を保つ対策もなされました。実際の指導には、水泳を専門とする6名程度のスタッフが担当して、グループ分けされた生徒の泳力レベルに合わせて授業が実施されました。その結果、運動量については例年以上に確保でき、成果が上がったと考えています。**質問** 教員と生徒の精神的、体力的負担に対してはどのように評価したか。**答弁** 学校として水質管理などの負担がなくなったこともあり、体育科の教員にとって、体力的にも精神的にも負担が軽減されたことを受けています。また、天候に左右されずに実施できることから、授業の見通しが持てることもメリットとなりました。生徒たちのアンケートからも、温水シャワーであること、水質等の衛生面での安心感から例年よりも前向きに水泳の授業を受けられたとのこと。しかし、学校からは時間割の入替や他行事との関係など、コロナ禍であったことも相まって、教育課程との連携において難しい面があったとの報告がありました。**質問** 学校の屋外プールと民間スイミングスクールで使用する屋内プールの違いに関する評価は。**答弁** 屋内プールでは、天候に左右されず、年間を通してカリキュラムを組めることや、教員による水泳指導の質の向上や負担の軽減、衛生管理などの面でも安心して授業が行える点など、大きなメリットがあると考えています。**質問** 今後の予定については。**答弁** 今後は、可能な限り拡大したいと考えていますが、民間事業者の受け入れ場所の問題やスタッフの確保などの課題もあります。さらに検討をして子どもたちが安心してより楽しく泳力向上に取り組めるよう、この事業の推進をはかっていきます。一般質問の議事録については [蓮田市のホームページ](#)→[市政情報](#)→[市議会](#)→[会議録の検索と閲覧](#)でご覧になれます。

report.3 はた くに おの 12月定例会 一般質問

市の行政運営の基本構想・基本計画である「蓮田市第5次総合振興計画(2018▶2027)」で用いられている2020年の推計人口と比較して、実際の人口は市が推計した人口よりも多くなっています。このことから、高齢者が元気で生き生きとした日常を送るための施策について、もっと力を入れるべきであると考え、次の2つの質問を行いました。

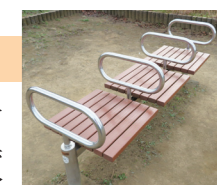
▶ シルバー人材センターと市の活性化について

質問 市がシルバー人材センター（以下「センター」とします。）に期待することは。**答弁** 高齢者の皆様がその知識や経験、能力を生かして就業する機会を確保し、さらに高齢者の就業ニーズやライフスタイルの多様化にも対応できるよう、センターの魅力を高めていくことも必要であると考えております。

センター事務所がある市役所西棟

質問 センターがより重要な役割を果たすことが大いに期待されることから、センターの課題解決に向けては市の全面的なサポートが必要と考えるが。**答弁** センターが魅力と活力のある事業を展開し、会員が安心して就業できるよう、継続して支援してまいります。**質問** センターが今年4月に市役所西棟に移転したことは、市との業務提携を行う絶好の機会でもある。市の業務の見直しを行うことにより、センターを共生する組織として位置付けることも必要ではないか。**答弁** 現在も公共施設の清掃業務や受付業務等を発注していますが、さらに市役所業務の中で、例えば発送作業など、センターの業務として可能なものがあるか検討したいと考えております。**質問** 情報交換について、市とセンターは十分に行ってきたのか。また、今後の考えは。**答弁** これまでは補助金申請時や業務委託時の打ち合わせなどを行ってきました。今後は、四半期ごとに長寿支援課（所管課）が意見交換会を行い、さらに庁内関係各課とセンターとの意見交換会も開催する予定です。**質問** 元気な高齢者を増やす、そのきっかけを作り、受け皿となるのがセンターである。市の活性化や財政に大きく貢献する、そんなセンターづくりを目指すために、市としてより大きな影響力を発揮すべきと考えるが、市の考えは。**答弁** 市としてはとても大事な機関であると考えており、ともに連携したいと考えています。新たな市の業務も発生している中で、センターの事業がさらに活性化するように、市としても応援し協働したいと考えております。

▶ 高齢者の日常と健康遊具の設置について

質問 コロナ禍における高齢者の日常生活について、市の現状認識と対応は。**答弁** 高齢者の日常生活に大きな変化が生じ、筋力・身体機能の低下、認知機能の低下など、高齢者の健康を害する危険性があると認識しています。運動教室・介護予防教室の再開など、高齢者の介護予防事業に取り組んで参ります。また、自宅でできる運動を紹介する、蓮田市オリジナルのDVDや冊子の作成にも取り組んでいるところです。**質問** 高齢者の健康維持のため健康遊具の設置の状況は。**答弁** 『健康遊具』とは、日常生活の中で高齢者を含めた大人の健康づくりを目的とし、ストレッチや筋力トレーニング、バランス感覚を養う運動などを気軽に行える、健康維持・増進を目的とした遊具です。現在は、西城沼公園に2基、前口公園に3基、下蓮田公園に2基、計7基設置されています。今年度は、西城沼公園に5基、根ヶ谷戸公園に5基、綾瀬やすらぎふれあい公園に6基、計16基設置する予定です。様々な種類の健康遊具を1箇所に設置することにより、より大きな効果が見込めるものです。

下蓮田公園に設置されている健康遊具

質問 安全確保や利用促進のために使用方法などの周知は。また未設置の公園にも設置すべきと考えるが。**答弁** 健康遊具本体への表示、またはその近くに使用方法を示したパネルを設置します。今後については、今年度設置予定の健康遊具の利用状況を見ながら、新たな場所での設置を検討してまいります。